



ROCK PAINT

Technical Data Sheet TDS NO. PU120616-①

APD/TRD/NTS

1 / 3

パテ Ver.3-1

04/10/25

For Professional Use Only

ロックポリパテシリーズ

2液型 ポリエステル樹脂パテ

商品概要・用途

ロックポリパテシリーズは、ヘラ作業性・乾燥性・研磨作業性に優れた鉄鋼板用のポリエステル樹脂パテです。自然乾燥、強制乾燥※ともに対応可能で作業条件に合わせた乾燥方法が選択できます。パテ付け後、即時強制乾燥することで大幅な時間短縮が可能です。(※057-0190を除く) また、057-0171は150℃×2時間の耐熱性を有している為、アミノアルキド樹脂塗料や熱硬化型アクリル樹脂塗料などの焼付塗料の下地としても使用可能です。

品目コード(品番・缶種)・品名・容量 / 商品外観

057-0150-02/03	ロックポリパテ 中目	4kg/1kg
057-S150-02/03	ロックポリパテ 中目(夏型)	4kg/1kg
057-W150-02/03	ロックポリパテ 中目(冬型)	4kg/1kg
057-0171-02	ロックポリパテ 細目	4kg
057-S171-02	ロックポリパテ 細目(夏型)	4kg
057-W171-02	ロックポリパテ 細目(冬型)	4kg
057-0190-02	ロックポリパテ 細目仕上用	4kg
057-0016-6A	ロックパテ用硬化剤 エローⅡ	100g
057-0017-6C	ロックパテ用硬化剤 エロー150	20g

※ 057-0017 ロックパテ用硬化剤 エロー150は、057-*150 ロックポリパテ 中目 専用品です。



特長

- ・ヘラ作業性に優れスムーズなパテ付け作業が可能です。
- ・パテ付け後、即時強制乾燥が可能です。
- ・表面乾燥性に優れサンディングペーパーの目詰まりがなく、ストレスなく研磨作業が行えます。
- ・057-0171は150℃×2時間の耐熱性を備えていますので焼付塗料用下地としても使用できます。
- ・057-0190はグレージングタイプでヘラ伸び性に優れ、被塗物のアール部分や比較的広い面積への塗布が可能です。また、粒子が細かく、パテのス穴埋めなどの仕上用に最適です。

使用可能な被塗物



鉄鋼板

塗り重ね可能塗料



202L各種

※詳細は各種プラサフのカatalogまたはTDSを参照してください。

焼付塗料 : 050L、065L、200L ※057-0171のみ対応可能。

ロックポリパテシリーズ

For Professional Use Only

注意事項



- ・主剤、硬化剤の配合は重量比です。
- ・使用前に主剤は攪拌棒を用い、缶の底から十分攪拌し、全体を均一にしてから使用してください。
また、硬化剤はチューブ入りですのでキャップを緩め、チューブ内の空気を抜いてから揉むように攪拌してください。
- ・使用後は缶のふちに付着したパテを拭き取り、密閉して冷暗所に保管してください。
ふちについたパテが乾燥し、缶内に落ちてブツになる可能性があります。
- ・硬化剤エローⅡ⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁶⁾、エロー150⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁷⁾は熱により分解・発火の危険性がありますので、必ず35℃以下の冷暗所にて保管してください。
- ・ロックポリパテシリーズは高張力鋼板および防錆鋼板には対応していません。
剥離の原因となりますので使用しないでください。
- ・硬化不良の原因となりますので加熱温度は60℃以下を厳守してください。
- ・057-0171の耐熱性はパテ乾燥後に発揮されますので、他のポリパテと同様の条件で乾燥させてから焼付塗装を行ってください。
また、ワレ、剥がれの原因となりますので170℃以下の焼付温度で使用してください。
- ・057-0190 ロックポリパテ 細目仕上用は常温乾燥型として設計しています。
硬化不良をきたしますので強制乾燥はしないでください。
- ・057-0029 ポリパテうすめ液はパテ主剤に対し1～3%の範囲で配合し十分攪拌を行い全体を均一にしてから使用してください。
- ・硬化剤 エローⅡ⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁶⁾・エロー150⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁷⁾は混合使用できません。
- ・硬化剤 エロー150⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁷⁾は 057-*150 ロックポリパテ 中目 専用品です。
細目、細目仕上用には使用しないでください。

保管条件 / 貯蔵安定期間



パテ	5℃～40℃	1年間(未開封時)
硬化剤 (0016 エローⅡ)	5℃～35℃	6ヶ月間(未開封時)
(0017 エロー150)	5℃～35℃	6ヶ月間(未開封時)

保護具 / 安全衛生



適切な安全保護具を着装してください。



詳細は安全データシート(SDS)を参照してください。

■Copyright © 2025 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.

本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。

本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。

実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。

本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

ロックポリパテシリーズ

For Professional Use Only

標準作業工程



- ・旧塗膜および錆などをシングルサンダー（サンディングペーパー#80～#120）にて除去してください。
- ・剥離した周辺塗膜をダブルアクションサンダー（サンディングペーパー#80～#120）にて基準面を作り、同時に素地についたペーパーの目消しを行ってください。
- ・引続きダブルアクションサンダー（サンディングペーパー#120～#180）で3～5cmのフェザーエッジを作ってください。



素地調整時についた研磨カス・ゴミなどをエアブローで除去した後、プレソルにて油分、水分、汚れなどを完全に除去し清浄な面にしてください。

※プレソルについての詳細は『プレソルシリーズ&静電気除去剤』のTDSを参照してください。



100 } 100 ロックポリパテ 各種（中目、細目、細目仕上用）
2-3 } 100 ロックパテ用硬化剤 エローⅡ⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁶⁾／エロー150⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁷⁾

※ 主剤と硬化剤がムラなく均一になる様によく混ぜ合わせてください。

※ 硬化剤 エローⅡ⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁶⁾・エロー150⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁷⁾は混合使用できません。

※ 硬化剤 エロー150⁽⁰⁵⁷⁻⁰⁰¹⁷⁾ は 057-＊150 ロックポリパテ 中目 専用品です。
細目、細目仕用上には使用しないでください。

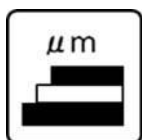


硬化剤	主剤		
	冬型 (057-W1**)	標準 (057-01**)	夏型 (057-S1**)
0016	10℃/4～6分	20℃/4～6分	30℃/4～6分
0017	10℃/7～9分	20℃/7～9分	30℃/7～9分

※パテ主剤は季節、気温条件に応じ選択してください。



- ①ヘラを立て、素地のペーパー目の中までパテが入るようにシゴキ付けをしてください。
- ②一度に厚付けせず、2～3回に分けてパテを盛り付けてください。
- ③ヘラをねかせ気味に軽く表面をなでる様にパテ表面を平滑にしてください。

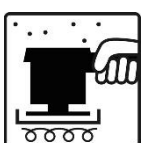


品番	品名	最大膜厚	研磨可能時間						強制乾燥		
			硬化剤 0016			硬化剤 0017					
			10℃	20℃	30℃	10℃	20℃	30℃		60℃	
057-0150	ロックポリパテ 中目	3mm	50分以上	40分以上	60分以上		50分以上		10分以上		
057-0171	ロックポリパテ 細目	3mm			使用不可						
057-0190	ロックポリパテ 細目仕上用	1mm									

※最大膜厚は盛り付け可能な最終の合計膜厚です。1回で盛り付けできる膜厚ではありません。

最大膜厚以上にパテを盛り付けるとワレやハガレなどの原因となります。

※パテ付け後、即時強制乾燥が可能です。（057-0190は強制乾燥を行うことができません。）



工程	研磨方法	サンディングペーパー		
		057-0150 中目	057-0171 細目	057-0190 細目仕上用
粗落し	ダブルアクションサンダー	#120	#180	－
面出し	手研ぎファイル	#180～#240	#240	#180
仕上げ	手研ぎファイル	－	－	#240～#320

※サンディングペーパーはパテ面の状態を確認して選定してください。